

研究テーマ

「当院心不全患者の増悪因子の把握と運動療法の検討」

1. 研究者

研究責任者：理学療法士 小野祐記

研究分担者：理学療法士 横田亮介

理学療法士 林真基人

理学療法士 西嶋洋

理学療法士 細川翔平

2. 研究の目的

近年、高齢化に伴い心不全患者が増加しています。心不全患者の増加は入院医療の逼迫や医療費増大などの社会的な問題につながります。また、多くの心不全患者は増悪寛解で入院を繰り返しながら身体機能も低下していきます。心血管疾患におけるリハビリテーションに関するガイドライン（2021年改訂版）では心不全患者の患者教育や自己管理、生活指導が推奨されており、心臓リハビリテーションにおける患者教育は慢性心不全患者の再入院率・死亡率・QOLの改善に有効との報告があります。このため心不全の増悪因子を把握して生活指導や運動療法を検討することに意義があると考え、研究の目的としています。

2. 研究の対象者について

この研究において、2023年6月1日から2024年8月31日の間に心大血管リハビリテーションを処方され、リハビリテーションを実施した患者さんを対象とします。

診療録に記載されているデータを用います。

3. 研究の方法

診療録の確認や心臓リハビリテーションカンファレンスの場で情報共有すること、理学場面で評価用紙を用いること等で情報収集を行い、心不全の増悪因子を把握します。データ分析を行い増悪因子の特徴をつかみ運動療法の内容を検討します。

[取得する情報] 診療録に記録された診療情報等（年齢、性別、病名、入院時血液データ、入院時心エコーデータ、心不全増悪因子（過活動、内服、食事、感染症、その他）、入院時握力、退院時握力、退院時 BI (Barthel Index) 値、退院時 SPPB (Short Physical Performance Battery) 値、最長歩行距離）を使用します。

4. 個人情報の管理について

参加された方の個人情報は守られ、名前や個人を識別する情報は一切公表されません。

この研究で得られた情報を、関連学会で発表させていただくことがありますが、この場合であっても患者さんの名前や個人を識別する情報は一切公表されません。ご本人からの求めに応じて、保有する個人情報を開示します。情報の開示を希望される方はご連絡ください。

5. 利益相反について

本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。

6. 研究に診療情報などを利用してほしくない場合のご相談について

本研究のために研究対象となるご本人の情報を使用してほしくない場合は、下記の問い合わせ先までお申し出下さい。その他ご不明点等がございましたら、同じく下記問い合わせ先までお問い合わせ下さい。

[問い合わせ先]

リハビリテーション技術課

理学療法士 小野祐記

TEL : 083-923-0111